

# Japanese Food & Sake Festival

## “Japanese Food & Sake Collection 2012”

### <出展のご案内>

謹啓、皆様方におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ご承知の通り、本年3月に日本で発生した大震災ならびに原発問題に起因する風評被害は、日本食の安全性、信頼性に大きな影を落す結果となり、未だに復興・収束の目処が立たない状況下において回復に向けた様々な取組みにも関わらず、日本国内ではなお一層の厳しさが続いている状況です。

このような中で、米国に住み、日常から日本食に深く関わる日本人として成すべきことを考えたとき、米国人の皆さんに事実を正しく伝え日本食に関する今まで以上の理解と支持を得るために最善を尽くすことこそが重要であり、ひいては日本の復興支援に繋がることとなるという結論に至りました。



当協会（Japanese Food Culture Association）は米国内における日本食・酒ならびに日本食文化の普及促進を目的としたNPOとして一般米国人消費者を対象に数々の日本食のイベントを開催してまいりましたが、この度、米国日系レストラン協会の協力を得て、**日本食の信頼回復と日本の復興支援**の願いを込め、**さらなる日本食・酒の消費の拡大と日本食文化への理解の促進を目的とした、「日本食&日本酒フェスティバル」**を2012年1月に開催する運びとなりました。

米国人消費者の健康意識や、食の安全性など食品全般に対する関心はこれまで以上に高まってきている一方で、日本食の代名詞ともなった寿司や天ぷらなどのほかに、ラーメンや焼き鳥、地酒、焼酎といった庶民を代表する一品が新たな注目を集めていることはご周知の通りです。そこで、今回のフェスティバルは、従来からの一般的な日本食・酒ファンの裾野の拡大はもとより新たな一品を求めるこだわり層を含む様々な米国人に対し事前にインターネット（ソーシャルネットワーキング）を活用して日本食・酒の文化・伝統のもつ魅力やバリエーションの豊かさを紹介し、フェスティバルへの参加を通して直接体験してもらうことにより新たな日本食ファンを創出し、消費の拡大に繋げていくことを目標として、開催地も映像・エンタテイメント・メディア産業の中心地「ハリウッド」にいたしました。

フェスティバルでは日系の各レストランを中心とした試食・試飲のみならず、シェフの職人技や日系メーカー各社の商品やノウハウについて会場内のワークショップ等にて紹介し、日本食・日本酒・日本文化に対する正しい理解を深めていただく機会も設けます。

皆様独自の商品、技術、味やサービスを通して更なるビジネスチャンスを発掘していただきたいと願ってやみません。皆様のご賛同と積極的なご参加を心よりお待ちしております。

謹白

雲田 康夫

日本食文化振興協会(加州登録/IRS 認定 NPO 法人)  
Japanese Food Culture Association (JFCA)  
理事長 雲田 康夫

# Japanese Food & Sake Festival

## “Japanese Food & Sake Collection 2012”

### ＜実施概要＞

#### 1. 目的

フェスティバルの開催を通して日本食・日本酒・日本文化への正しい理解と認識を高め、一般米国人の中でさらなる日本食・日本酒ファンを拡大することにより、日本産品全体に対する信頼の回復をはかり、併せて日本産の食品・飲料・酒類・その他関連日本産品等の消費(輸出)の拡大ならびに訪日米国人の拡大をはかる取組みとすることで震災・風評被害からの日本の復興を支援いたします

#### 2. 企画・主催

日本食文化振興協会 Japanese Food Culture Association (JFCA)

\* 加州登録 NPO/IRS 認定番号: 501c (6) Official Website : <http://www.JapaneseFoodCulture.org>

\* Festival Site : <http://www.JapaneseFoodSakeFestival.com>

#### 3. 協力

米国日系レストラン協会 Japanese Restaurant Association (JRA)

#### 4. 後援

在ロサンゼルス日本国総領事館、日本貿易振興機構(JETRO)ロサンゼルス事務所、南加日米協会(JAS)、日本政府観光局(JNTO)ロサンゼルス事務所など

#### 5. 協賛

米国共同貿易、JFC International、米国西本貿易、日本酒造組合中央会、JTB西日本(株) JTB Americas Group など

## 6. 開催日時及び場所

**2012年1月29日(日) 午前11:00 - 午後4:00 (閉場:午後5:00)**

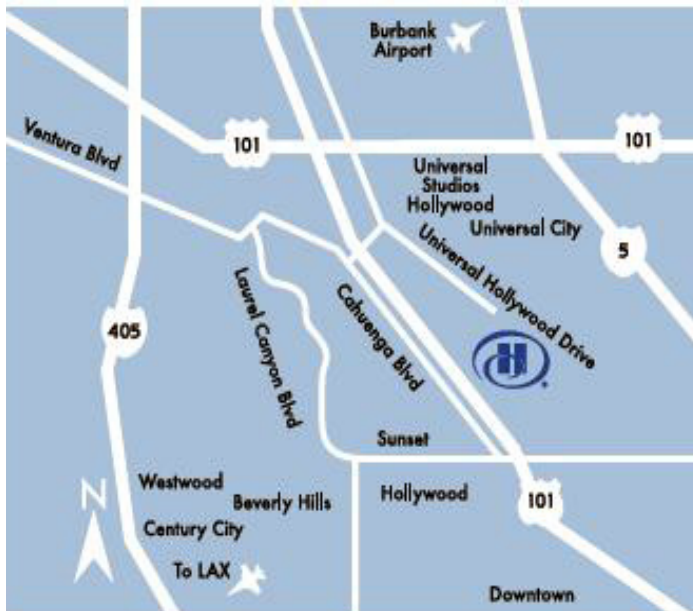
(上記の開催時刻は若干変更となる可能性があります)

## 7. 開催場所

ヒルトンホテルロサンゼルス／ユニバーサルシティ

Hilton Hotel Los Angeles/Universal City

- \* ロサンゼルスハリウッド・ユニバーサルスタジオメインゲート手前のヒルトンホテル(下図、参照)
- \* 会場総面積: 約30,000SQF(グラウンドボールルーム+Foyer+屋外エリア)
- \* 駐車スペース: 約1,000台(シェラトンホテルとの共用エリアを含む)



  
**Hilton**  
Los Angeles/Universal City



## 8. 立地環境

- ①ユニバーサル・ワーナーブラザーズ・NBCなどに代表される映画・エンタテインメント・メディア産業の中心地である Studio City や映画俳優などの Celebrity が居住する Hollywood Hills、Toluca Lake 等に隣接する地域です
- ②若年から中年まで幅広いカルチャーリーダーと呼べる労働人口も多く、別名「Sushi Street」と称される Ventura Boulevard のほか多数のレストランが集まる外食産業地帯です
- ③ユニバーサルスタジオに隣接しており一般的な知名度も高く、FWY101号線沿い(出口から2分)及びメトロレッドラインのユニバーサルスタジオ駅(シャトルで5分)に立地しており、周辺各地域から様々な交通手段によるアクセスが容易です

## 9. ターゲット層

ロサンゼルス郡、ベンチュラ郡に居住もしくは就労している白系、ヒスパニック系、アジア系などの一般米国人消費者 \* 前述の立地環境を活かし、Sushi や Sake をはじめとする「日本食文化」への関心・嗜好が強い、幅広い年代の中間層以上の米国人を呼び込みます

## 10. 集客方法

- ①インターネット(専用 Web サイトを開設し、Facebook や Twitter、ブログなどを活用した事前のPRを行います)
- ②プレスリリースによるメディア広報(白系、中華系、韓国系、メキシコ系、ユダヤ系など)

## 11. 設定入場者数

2, 500名

\* 一般有料入場者および招待者を含む



## 12. 設定入場料

当日券: \$ 60、前売り: \$ 50(オンラインならびに一部委託による販売)

\* 前売り券販売期間: 2011年10月1日~2012年1月27日

\* 販売箇所: TBA

## 13. 設定スペース(コマ)数

約70コマ

## 14. 出展対象商品

日本食関連食材・加工食品(原産地・加工地は問わず)、日本酒類、健康飲料、その他日本食・酒関連商品、関連機器等

\* 商品や内容がイベントの主旨、目的等に沿わないと判断される場合、出展(出品)をお断りさせていただく場合がありますのであらかじめご了解下さい。

## 15. プログラム内容(予定)

- ・ LA地区の有名日本食レストランが提供する自慢の一品の試食(食券制)
- ・ 日本食材・加工品のPR・試食
- ・ 日本酒類全般のPRと試飲
- ・ 健康飲料・健康食品の展示・PR
- ・ 日本食・酒関連商品の展示・PR
- ・ 小ステージでのクッキングデモ
- ・ ワークショップでのセミナー、製品 PR など



\*このフェスティバルは日本食・酒・関連商品のプロモーションイベントであり、直接販売を目的としたものではありませんが当日、会場内での直販をご希望の場合は業種、商品等により細かい条件や制約の確認、許可の取得等が必要となることがありますので、**必ず事前**にお申し出下さい

## 16. ビジネス拡大のうえで相乗効果が期待できる関連事業のご案内

このフェスティバルは下記2つの関連事業と連動、連携することにより、米国人の中で新しい日本食ファンを増やすことを具現化します

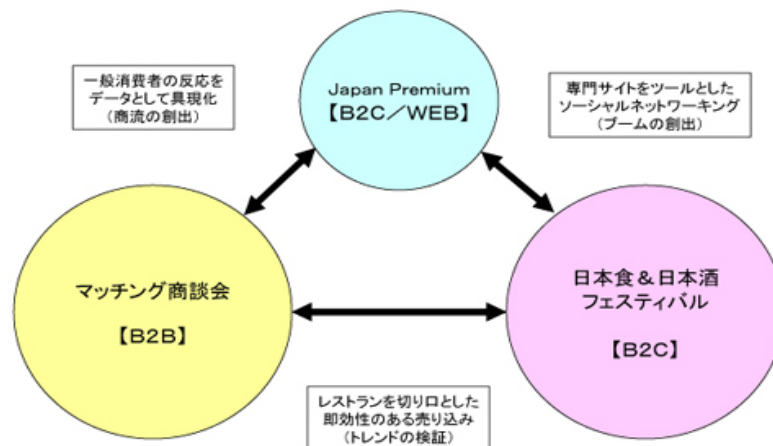
### ①「日本食、日本酒の見本市商談会」(主催: JTB西日本㈱/協力: 日本食文化振興協会)

〈内容〉 日本各地の食品メーカーや自治体、生産者団体などが参加して実施する米国内の食品業界向け日本食材・加工品、日本酒などのマッチング型商談会。フェスティバルと同時併催し、フェスティバル内において食材・加工品を試供品として提供することによりSeller、Buyerの双方が米国人一般参加者(一般消費者)の反応もその場で直接、確認することが出来ます。\*参加ご希望の場合は別途お申込み(別費用)が必要です。枠数に限りがありますのでお申込みのタイミングによりご要望に副えない場合があります。

### ②「平成海援隊+Japan Premium」(主催: 日本食文化振興協会)

〈内容〉 日本産の商品などを一般米国人向けにオンライン決済で販売するポータル型WEBサイト(B2C)。ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルネットワーキングを活用し、フェスティバルの開催に先駆けてオンライン上にて様々なニュースの発信などの事前PRを行うことにより、フェスティバルや上記商談会への「フィードバック」を創りあげます。\*参加ご希望の場合は別途お申込み(別費用)が必要です。

プログラム連携(相乗効果)のイメージ



## マッチング型商談会

### 企画イメージ



#### 生産者、地方自治体

- ・ 出品者(出展者)の募集
- ・ 出品(出展)説明会
- ・ 会社情報、出品リスト、商品情報などのマッチングシステムへのアップロード
- ・ 輸出セミナー、オリエンテーションの開催
- ・ アフターケア

日本食フェスティバルと同一会場でのB2B商談会の開催  
\* 完全アポイントメント制によるマッチング



#### 事業主体: JTB西日本 およびJTBアメリカス

- ・ 商談会場の手配
- ・ 出品リスト、商品情報の作成
- ・ バイヤーの招聘
- ・ アポイントメントの設定
- ・ 卸各社との調整
- ・ アフターケア



#### 米国内食品関連業者

- ・ セラー(会社情報、出品内容、商品情報)の紹介
- ・ 商談会への参加アレンジ(通訳者、交通・宿泊の手配など)
- ・ フェスティバルへの同時参加
- ・ 卸各社の紹介、調整
- ・ アフターケア

## WEBサイトを活用した日本食品の紹介と試験的販売

### プロジェクトイメージ



#### 生産者、地方自治体

- ・ 商品、レシピなど情報(テキスト、画像、映像)のアップロード
- ・ 会社情報(WEBへのリンク)のアップロード
- ・ 問合せ・販売情報の入手

特設サイト  
【米国内向け】 Japan Premium  
【日本国内向け】 平成海援隊  
\* URLはいずれも1月中に完成予定



#### 事業主体: 日本食文化振興協会 およびTSコンサルティング

- ・ サイトの構築・運営・管理
- ・ ソーシャルネットワーキング
- ・ 販売対応(決済&ロジスティクス)
- ・ カスタマーサービス(クレーム対応)
- ・ データの集約・管理
- ・ イベントの告知

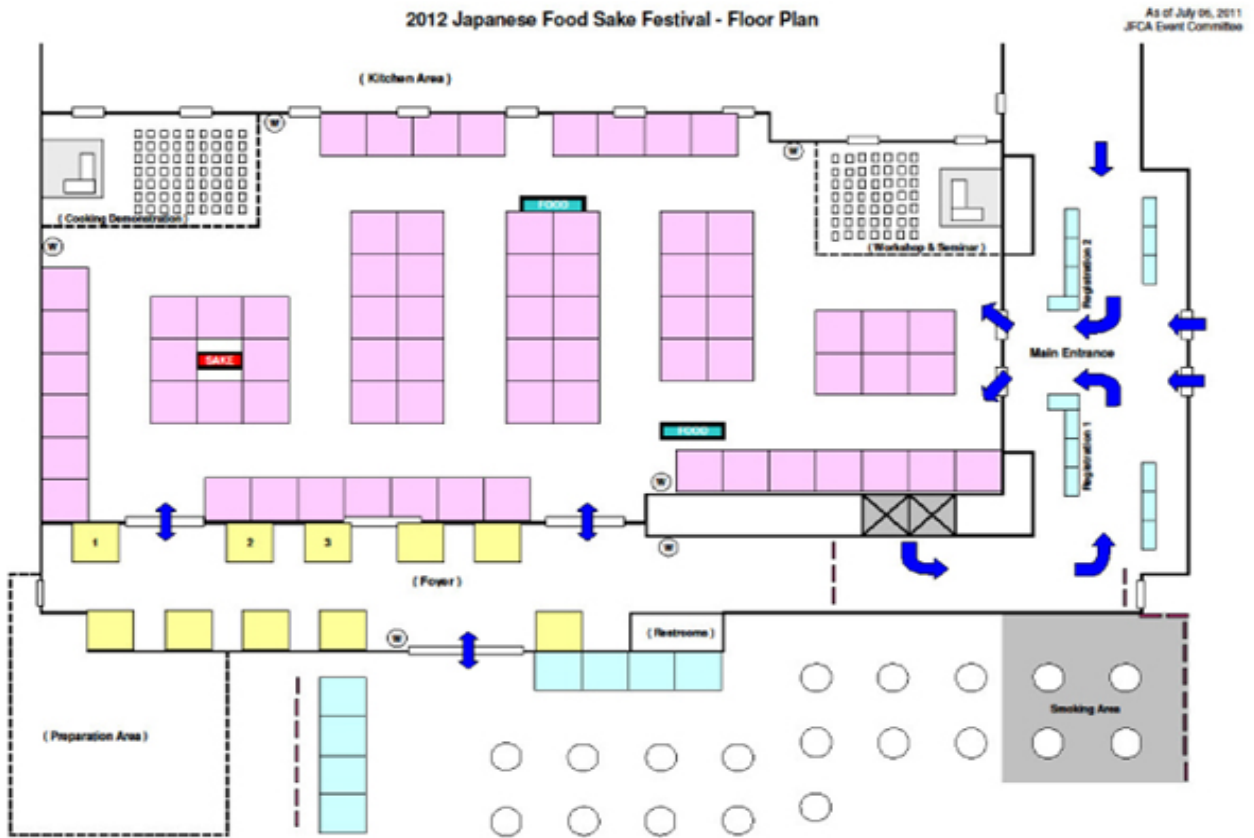


#### 米国内一般消費者

- ・ 商品情報(テキスト、画像、映像)の収集、問合せ
- ・ 日本側の会社情報(WEBへのリンク)の閲覧、問合せ
- ・ オンライン決済による商品の購入

## 17. 会場予想図(暫定)

\* 今後、変更となる可能性があります。



<Foyer>



<Ballroom>

\* 上記の画像はいずれもイメージであり、当日のセッティングとは無関係です。

# Japanese Food & Sake Festival

## “Japanese Food & Sake Collection 2012”

### ＜スポンサー・出展・広告等料金一覧表＞

スポンサープラン	ダイヤモンド	ゴールド	シルバー
<b>料金及び金額に含まれている基本項目</b> * 日本円建て料金には「イベント傷害保険料」が含まれています	\$5,000 (¥450,000)	\$3,000 (¥294,300)	\$2,000 (¥204,300)
基本スペース(約 2.7m x 2.7m)	2	1	1
プログラムブック広告	1ページ	1ページ	1/2ページ
フライヤー・ポストカード・ポスター・フェスティバル Website トップページへのロゴの掲載	○	○	○
フェスティバル Website トップページへの広告バナー掲載	○	○	○
メディア広告上でのロゴの掲載	○	○	○
会場内ワークショップでの自社製品等の PR	○	○	
出展者バッジ数	8	6	4
一般入場者招待券	8	6	4
スペース備品: テーブル(スカート・クロス付) x 2 (テーブルサイズ: 大 6' x 30" x 1 および中 6' x 18" x 1)	○ x 2	○	○
電源量	5A x 2	5A	5A
スペースプラン	プランA	プランB	
<b>料金及び金額に含まれている基本項目</b> * 日本円建て料金には「イベント傷害保険料」が含まれています	\$1,000 (¥114,300)	\$700 (¥87,300)	
基本スペース(約 2.7m x 2.7m)	1	1	
プログラムブック広告	1/4 ページ		
フェスティバル Website トップページへのロゴの掲載	○		
出展者バッジ数	4	4	
スペース備品: テーブル(スカート・クロス付) x 2 (テーブルサイズ: 大 6' x 30" x 1 および中 6' x 18" x 1)	○	○	
電源量	5A	5A	

- \* プランA、Bは提供数に限りがあります(先着申込順)
- \* 出展場所(スペースの位置)に関するご要望にはお応え出来ませんので予めご了承下さい
- \* 12月31日までのキャンセルについては取消料(50%)を申し受けます
- \* 2012年1月1日以降のキャンセルについては取消料(100%)を申し受けます
- \* 日本円料金には米国外から参加される出展者向けのイベント傷害保険料が含まれています

広告プラン	広告費	制作費
Back Cover Full Page	\$2,000 (¥180,000)	\$500 (¥45,000)
Inside Back Full Page	\$1,500 (¥135,000)	\$500 (¥45,000)
Other Full Page	\$1,000 (¥90,000)	\$500 (¥45,000)
Other Half Page	\$800 (¥72,000)	\$400 (¥36,000)
Other 1/4 Page	\$500 (¥45,000)	\$300 (¥27,000)

- \* 上記は、当日配布予定のプログラムブックへの広告掲載料金です
- \* コンテンツの製作が必要な場合は制作費が加算となります
- \* 12月31日までのキャンセルについては取消料(50%)を申し受けます
- \* 2012年1月1日以降のキャンセルについては取消料(100%)を申し受けます

# Japanese Food & Sake Festival

## “Japanese Food & Sake Collection 2012”

### ＜申込のご案内＞

#### 1. 問合せ、出展・広告の申込みに際して

1) フェスティバルへの出展にあたっては、①スポンサープラン、または②スペースプランのいずれかへのお申込みが必要です。また、フェスティバルを通して広告を行う場合は③広告プランのみへのお申込みも可能です。

2) いずれの場合も、Sponsorship/Space Plan/Advertising Application Form に必要事項をご記入いただき所定の参加費用を添えて下記のいずれかの窓口にてお申込み下さい。

#### 【米国内でのお申込み】

\* 米ドルでのお支払い

#### 日本食文化振興協会 (JFCA) 事務局

9 Via Veneta, Rancho Palos Verdes, CA 90275

Tel: (310) 947-9442 FAX: (310) 375-4102

E-mail: [Event@JapaneseFoodSakeFestival.com](mailto:Event@JapaneseFoodSakeFestival.com)

担当: 鈴木・二見・奥秋

#### 【日本国内でのお申込み】

\* 日本円でのお支払い

#### JTB 西日本株式会社

#### 法人営業大阪支店公務営業部

〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町3-1-8

本町クロスビル10階

TEL: 06-6252-2540 FAX: 06-6252-2536

E-mail: [world-export@west.jtb.jp](mailto:world-export@west.jtb.jp)

担当: 橋本・颯田(サツタ)・西川

3) 初めての参加申込みの場合は会社・団体紹介資料(会社・事業の案内)、出展予定商品紹介等をPDFもしくはURLを添付しお申込下さい。尚、出展内容が本フェスティバルの趣旨と乖離していると判断される場合、出展(出品)をお断りすることがありますのであらかじめご了承ください。

4) 出展スペースについて、会場内の特定の場所を指定することは出来ませんが、ご要望がある場合はその旨を一旦、申込書に併記して下さい。

#### 2. 申込期限

	申込期限
スポンサープラン/スペースプラン	2011年9月30日(金)
広告プラン	2011年10月31日(月)

### 3. 出展者ご自身にてご用意いただく必要のあるもの(スポンサープランまたはスペースプランへのお申込みの方々が対象)

\* スペース内のテーブルは原則としてL字型に組み合わせたセッティングでご利用いただきます。

- 1) 製品(食材・飲料など)を試供品として提供される場合の備品など  
\* カップ、皿、箸、ナプキン等すべて使い捨て仕様のもの
- 2) 基本スペース内にて使用される調理機器、調理道具類など  
\* 各スペースにはガス、水道、排水等の設備がないため調理機器等は出来るだけ家電製品をご利用下さい(但し、各ブースの許容電源量にご注意下さい)。  
\* 許容電源量を超える場合、別途ご案内する追加サービスへお申込みいただくことにより許容量の増加が可能です。
- 3) 基本スペース内のディスプレイ・POP ツールなど  
\* 隣接するスペースとの「仕切り」や「カーテン」はありません。  
\* 壁面への釘、画鋸の使用は出来ません。
- 4) 延長コード、パワーストリップなど  
\* 基本スペース内のみでの使用に限ります。
- 5) 基本スペース用ゴミ箱  
\* 会場内の一般参加者用には別途、主催者側にて大型のゴミ容器を設置します。



### 4. その他のご案内

- 1) 会場への搬入、終了後の搬出については別途ご案内いたします。(予定: 当日の午前8時~)
- 2) 原則として冷凍・冷蔵が必要な食材の事前保管はお受け出来ません。 当日、上記の搬入時刻以降はホテルキッチンの冷凍庫、冷蔵庫の使用が可能です。
- 3) 各プランの基本料金に含まれるもの以外の項目(アシスタント要員・機材・備品・追加電源・氷等)については追加サービス(実費)としてお申込みが可能です。 追加サービスの詳細につきましては別途、ご案内いたします。
- 4) 各スペース(コマ)におけるドリンク、酒類等の冷却用に当日、氷(キューブアイス)をご用意いたします。 利用ご希望の場合は、上記追加サービスへの事前お申込みが必要です。
- 5) このご案内は「日本食・日本酒フェスティバル」への出展参加、お申込みに関するお知らせです。 前述(5ページ、6ページ)の「マッチング商談会」や「通販サイト」への参加、申込みをご希望の場合は、別途手続きが必要ですので詳しくは担当事務局(9ページ)までお問合せ下さい。

## 日本食文化振興協会 (JFCA) について①

この団体は、カリフォルニア州およびIRS (Internal Revenue Service) の認可に基づいて設立、運営されている非営利目的の民間組織であり、以下の各項に掲げる内容を目的とした活動を行っている。

### ●設立時期と名称

2007年9月1日、日本食文化推進協会 (正式な登録名称は下記英文参照)

**Japanese Food Culture Association (JFCA)** \* IRS認定番号: 501c(6)

### ●活動の内容:

- ・ 米国内において真の日本食材ならびに日本食文化を普及させ一般米国人の日本食に対する正しい理解を促す
- ・ 米国内において真の日本食の持つ健康的効果、品質の高さ、入手方法など様々な情報を広く一般米国人に提供する
- ・ 米国内における真の日本食材ならびに日本食文化の普及と促進を目的とし、一般米国人を対象とした日本食の催事、(Japanese Food & Sake Festivalなど)を企画し、日系の食品関連業者 (製造、卸、小売、レストランなど)の協力を得て催行する
- ・ 日本食に関連した市場調査を行い、それらを収集・分析し、米国内における日本食に関連する情報として一般公開する
- ・ 上記の目的を達成するために理事会の判断の元、必要かつ適切なことを推進する

### ●理事 (2011年7月1日現在):

雲田康夫	Yasuo Kumoda, President (理事長)
二見義之	Yoshiyuki Futami, Secretary & Public Relations
森 辰雄	Tatsuo Mori, Treasurer
金井紀年	Noritoshi Kanai
若尾龍彦	Tatsuhiko Wakao (日本在住 / 非常勤)

### ●事務局:

鈴木利明	Toshiaki Suzuki
------	-----------------

### ●活動実績:

催事名:	第1回日本食&日本酒フェスティバル
期日/期間:	2008年3月13日(木)
催事名:	第2回日本食&日本酒フェスティバル(日米協会との共催イベント)
期日/期間:	2009年3月5日(木)
催事名:	農林水産省フェア事業
期日/期間:	2009年11月~2010年2月
催事名:	第10回日本食の祭典(JRAとの共催イベント)
期日/期間:	2009年11月15日(日)
催事名:	農林水産省WASHOKU-Try Japan's Good Food事業
期日/期間:	2010年2月19日(金)
催事名:	第11回日本食の祭典(JRAとの共催イベント)